

「にぎわい部会が料理試食会を実施」

11月17日(木)、「WAO」にぎわい部会が、地域素材を活かした料理づくりと試食会を行いました。料理・試食会は、数えて3回目になります。この取り組みは、一貫して「和田地域の魅力的な食品素材の発掘とそれを使ったメニューの開発」です。1回目は、主に「和田にはどんな魅力的な素材があり、それを使ったメニューにはどんなものがあるか」を確かめるものでした。その時のメニューは

- ① やんごめ ② 白和え ③ からなます ④ カジキの握り など
- ⑤ 赤混ぜご飯 ⑥ 大巻き寿司 ⑦ シイラの煎りさんが ⑧ 貝汁
- ⑨ 麦とろご飯 ⑩ マグロの山かけ ⑪ じねんじよの三杯酢
- ⑫ イソツビのすり流し ⑬ サンマの卵の花(漬け) ⑭ アケビの皮の天ぷら
- ⑮ カジメの煮物 ⑯ シイラのベーコン巻き揚げ物
- ⑰ イノシシ肉のソーゼージ ⑱ シカ肉のベーコン など



2回目は、より和田らしい海と山の幸を使ったメニューとなりました。その後、「食の庄内親善大使」奥田政行シェフをお招きし、オリーブオイルと塩を使い素材の食味・食感を大切に料理のあり方を学習しました。その経験を踏まえて、今回の料理・試食会です。

テーマは、「地元産の食材を使い、できるだけ素材の味や良さを活かした調理」です。メニューは左のようなものになりました。

- ① 浜大根の若葉とシラスの混ぜご飯 ② むかご入りのおこわ
- ③ 川エビを入れた米粉お好み焼き ④ イノシシ肉を使ったお好み焼き
- ⑤ イノシシ肉のそばつゆで味わう秋そばのせいろ ⑥ 鶏皮出汁・塩味の付汁で味わうラーメン
- ⑦ イカのさんが焼き ⑧ むかごの大学芋風 ⑨ イノシシ肉のトマト煮 ⑩ 地元産の温野菜 ⑪ シェラート・シャーベット各種(じねんじよ、ダイダイ、枝豆、ハチミツの素材) など

3回の調理・試食会を通して、魅力的なメニューや地域素材が幾つか見つかりました。

メニューでは、「大巻き寿司」「赤混ぜご飯」「イカのさんが焼き」「とろろ汁」などです。また、素材では、「カジキ」「アジ」「フジ」「シイラ」「カジメ」「じねんじよ」「むかご」「イソツビ」「川エビ」「イノシシ肉」「シカ肉」「ハチミツ」などです。これらの料理(素材)を、地域の皆さんや地域外に発信していくことが、和田の魅力をアピールしていくことにつながることを考えます。

また和田支所等、多くの人が集まる場所に、レシピを展示したり写真を展示したりして知ってもらい、実際に食べて頂くのも大切なことだと考えます。



そして、その中でも特に好評な作品は商品化するなどの手立てを取っていくことで、和田地域のにぎわい回復へ、幾分かのお手伝いができるばと考えられています。

発行者 南房総市・和田地域づくり協議会「WAO!」
 連絡先 南房総市役所和田支所内 地域づくり支援員
 電話 支援員 0470-47-5955
 支所 0470-47-3111
 E-mail qq4u9y89n@royal.ocn.ne.jp

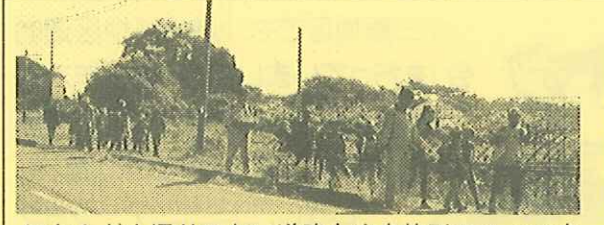
南三原小学校の「安心安全マップづくり」



今日の活動内容等を最終打ち合わせします

そこで本年度は範囲を広げ、南三原小学校の子ども達と、安心安全マップづくりをしようという計画しました。しかし、南三原小は学区が広い上、約半数の児童がバス通学です。従って、和田小と同じように、歩いて通学路の危険箇所を点検するという訳にはいきません。

そこで今回は、遠足を兼ねて目的地までのコース周辺の危険箇所を点検することになりました。この危険箇所とは、主に防犯上での危険箇所ということになります。



ほとんど人通りのない道路も注意箇所の1つです



目的地近くの丸山川にかかる橋の上でもチェックします

コースマシー 公園。子ども達は、10のグループをつくり、それぞれ自分達が選んだコースを通り、目的地に向かいます。危険箇所を見つける観点は、「入りやすい場所」「人目につかない場所(人目のない場所)」です。今回参加した「WAO」会員は13名。各グループに付いて、子ども達と一緒に危険箇所を探します。点検した結果は、それぞれが持ち帰る地図上に落とし込んでおきます。

「WAO」安心安全部会は、昨年和南三原小の遠足に参加

「WAO」安心安全部会は、昨年和南三原小と、子ども達の通学路周辺の安心安全マップづくりをしました。

「WAO」から4人の参加となりました

先生の説明を受けた後、子ども達はグループごとにチェックした危険箇所を、掲示用の大きな地図に落とし込んでいきます。またその次には、日頃気づいている自分の家の周辺の危険箇所も記入していきます。またその次には、日頃気づいている自分の家の周辺の危険箇所も記入していきます。

「WAO」会員は、グループを回りながら、その様子を観察したり、アドバイスしたりしていきます。

当日は1時間の作業でしたので、マップは完成できませんでした。子ども達は、別の日に再度時間を取って完成させる予定です。そして、完成したマップは、全校の児童に発表し、危険箇所を伝えていく予定です。

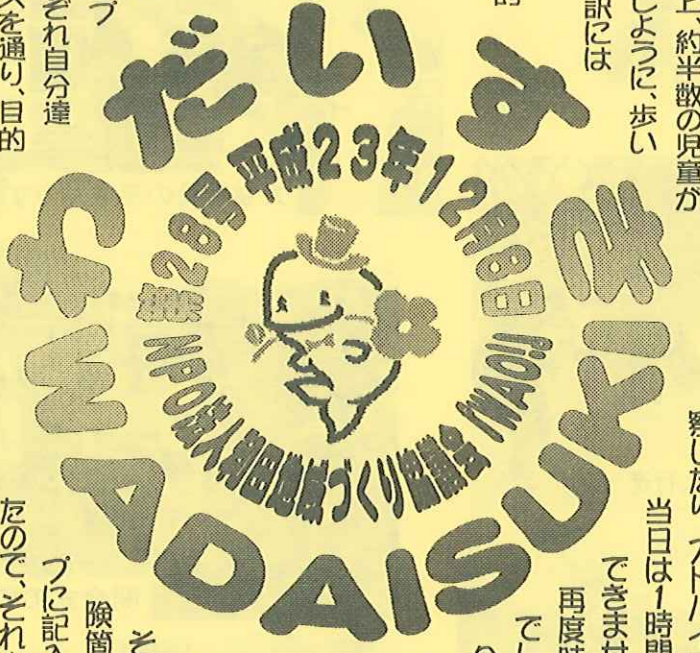
「WAO」から4人が参加しました

遠足当日、グループに付いた



当日は「WAO!」から4人が参加しました

安心安全マップづくりをするのは5・6年生です



第62回 南三原地区運動会

南三原地区運動会は、左の表題にあるように「62回」を数えます。

和田町時代の「公民館運動会」が、南房総市になると共に地区の自主開催となり、引き継がれているものです。

合併前には、各町村で行われて

いた運動会ですが、多くの地域で消えていきました。南三原地区でそれが存続したのは、「地域づくりの1つの核であり、文化財ともいえる運動会をなくしてはいけない」という地域の人達の強い思いがあったことに他なりません。

ちなみに、そのプログラム数は21、のべ参加人数は約1200人に上ります。数字上では、地区居住者数の2/3以上です。これだけの人数が参加する行事は、和田地域では他にありません。まさに一大地域づくり行事と言えます。

第62回南三原地区運動会の様子を写真でお伝えします。

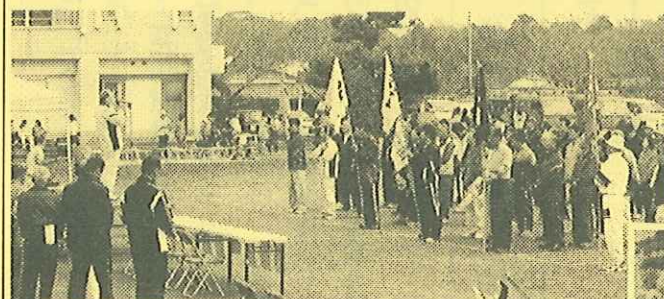
結果は

優勝は、白渚区

2位は、松田区

3位は、海浜区

でした。



南三原地区区長会長の開会式での挨拶です

各競技の様子です



プログラムNO. 2 苦難の道



プログラムNO. 3 玉入れ



閉会式での表彰の場面です（写真は優勝の白渚区）



プログラムNO. 10 バウンドシュート



プログラムNO. 11 自転車のおそり



プログラムNO. 17 ゴリラの大作進



プログラムNO. 12 区対抗リレー（女）



プログラムNO. 21 区対抗リレー（男）

2つの地区で 地域づくり活動が行われました

11月3日（木）、南三原地区と北三原地区で、それぞれ地域づくり活動が行われました。「南三原地区運動会」「北三原地区さわやかスポーツ大会」がそれぞれです。

和田町も合併により南房総市の一地域となりましたが、行政機構の改革や進行する過疎化・高齢化に伴い希薄感が増し、一層地域のコミュニケーションづくりや近隣の相互支援の仕組み作りが必要になっています。

これら2つの活動は、地域住民相互の関わりや連帯意識を高めるために、非常に大きな役割を担っていると考えます。

第7回 北三原地区 さわやかスポーツ大会

北三原地区でも、以前は「地区運動会」を行っていましたが、青壮年人口の減少と共に、大がかりな行事の開催が困難になってきました。

しかし、コミュニケーションづくり、地域づくりの核は失いたくないという思いから、誰でも気軽に参加できる「軽

スポーツの大会」に衣替えをし、それが引き継がれました。スポーツの種目は「グラントゴルフ」です。

スタートして間もなく南房総市への合併がありましたが、南三原と同じように、地区主催という形で行われ続けています。

下の写真が、本年度「さわやかスポーツ大会」の様子です。



大会役員の皆さんです



会長さんの挨拶



開会式の様子です



競技中の様子です



閉会式での表彰の様子です